

文楽

グランシップ伝統芸能シリーズ

ユネスコ無形文化遺産

人形浄瑠璃

男と女の運命は荒波を超え、やがて想いは、
それぞれの愛の結末へ

夕の部

近松門左衛門没後三百年

「曾根崎心中」

生玉社前の段 天満屋の段 天神森の段

昼の部

「義経千本桜」 道行初音旅
「新版歌祭文」 野崎村の段

写真 青木信二

お着物で
ご来場の方に
先着で
プレゼントを
ご用意!

夕の部へご来場の方の特典!

富士市出身 文楽人形遣い・
桐竹勘次郎さんによる
ミニレクチャー



文楽人形の仕組み、動かし
方を特別にご紹介します。
●15:50～16:20

日本茶インストラクターによる
呈茶サービス

開演前 休憩時
中ホール2階ホワイエ

●15:40～17:00 ●17:35～17:50



開演前、
ロビーにて
文楽人形がお客様を
お迎えします!

昼の部 12:30～12:55
夕の部 16:30～16:55



《全席指定》1階席 4,200円 2階席 2,000円
こども・学生 1,000円
昼夕通し券 7,560円

グランシップ友の会先行販売: 8/3(日)～8/9(土)
一般発売: 8/10(日)～

※未就学児入場不可、こども・学生は28歳以下の学生
※2階席は舞台を上から見下ろすため、人形や舞台の一部が見えにくい場合があります
※公演日1週間前に残席がある場合、定価より2割引になります(こども・学生、通し券を除く)
※「静岡県高校生アートラリー」ポイント対象事業
※グランシップ友の会の会員特典対象事業

チケット販売
お問い合わせ

グランシップチケットセンター TEL 054-289-9000 (10:00～18:00/休館日を除く)

※グランシップホームページからは空席状況に応じて好きな席を選んで購入できます。(昼夕通し券もWEB予約をご利用いただけます)

コンビニ引取手数料無料

<https://www.granship.or.jp/>



2025年 11月8日 土

昼の部 13:00開演 (15:15終演予定)

夕の部 17:00開演 (19:00終演予定)

※開場は開演の30分前、夕の部は15:40よりホワイエのみ開場

グランシップ 中ホール・大地
(JR東静岡駅南口隣接)

ユネスコ無形文化遺産であり、日本が世界に誇る「人形浄瑠璃・文楽」。

江戸時代の18世紀頃大坂で生まれ、浄瑠璃と人形芝居が結びついてできた文楽は、太夫・三味線・人形遣いの三業が互いに息を合わせ三位一体で創り上げられる舞台。

大阪・関西万博での三番叟のりズミカルな舞台披露で改めて国内外から注目されています。太夫が物語を語り、三味線の豊かな音色が情景や心情を表現し、3人の人形遣いが操る人形が命を持つようにいきいきと演技することで、人々の心を動かす世界的にも珍しい舞台芸術。

グランシップでは県内で唯一毎年開催し、日本の伝統芸能を次世代に継承する機会となっています。

昼の部は、人形や舞台の仕掛けが映え、狐の情愛が美しい「義経千本桜」と、油屋の娘・お染と丁稚・久松の二途な思いが交錯する「新版歌祭文」の部は、実際に起きた心中事件を取り上げ、初の世話物とされる「曾根崎心中」。

今回は「昼・夕の部」とも文楽の代表的な演目が揃い、はじめての文楽におすすめ！開演前の解説がありますのでお気軽に！もお楽しみください。



昼の部

義經千本桜 道行初音旅

淨瑠璃三大傑作のひとつで、人形浄瑠璃の全盛期、延享4年（1747）に大坂の竹本座で初演された。二代竹田出雲、三好松洛、並木千柳お化の五段の時代物。四段目の、満開の桜を背景にした道行は、道行の最高傑作とされ、目も耳も圧倒される極めて華麗な舞台です。

新版歌祭文
野崎村の段

歌藝文によつて世間に広まった、大坂の油屋の娘お染と丁稚久松の心中(1710)の事件から生れた多くの作品の中、最も有名で人気のある、近松半二の二巻の世話物で、安永9年(1780)竹本座初演。大坂府大東市を舞台とする上の巻の「野崎村」には、それまでのお染久松物にはなかつた、新たな悲恋がみこに描かれています。

の妻の連れ元と恋ひつゝの許婚でありながら、奉公で野崎村の百姓久作が縁あつて育てた久松は、久作の娘お染とおひつ。決して許されぬ主従の恋を、先づ娘お染と恋ひつゝ許された久松が美家へ戻されたのを幸い、危ぶんだ久作は、久松が美家へ戻されたのを幸い、すぐにおみつと結婚させることに。諦めかけていたおひつが、突然、現実のものとなり、おみつは大喜び。

夕の部

曾根崎心中
く生玉社前の段く天満屋の段く天神森の段

元禄16年(1703)、露天神社・大阪市北区で起きた心中事件を題材として、その一月後に竹本座で初演された、大好評を博した近松門左衛門の世話物。第作「それまで歴史や伝説といった過去の物語のみ」を題材として来た野瑠璃に、同時代の身近な事柄を描く新分野「世話物」を確立した、画期的な作品です。現在上演されているのは、1955年に、野澤松之輔の脚色作曲により大阪の四ツ橋文楽座で復活上演されたもので、原作のままではありませんが、海外での評価も高く、文楽を代表する演目となっています。

醤油屋の手代徳兵衛は、天満屋の遊女お初との愛を貫くため、主人からもちかけられた縁談を断固として拒絶。激怒した主人に命じられた持参金を知らぬ間に話を決めて受け取っていた。参金を取らなくて大坂追放でした。お初に会えなくなる危機感から取り戻した金を早く返して、主人の気持ち

平家滅亡後、兄源賴朝に追われる義経が吉野にいると知った愛妾静御前は、義経の忠臣佐藤忠信に伴われ吉野へ道中、義経から与えられた鼓を静が打つと、必ずどこかともなく姿を現わす忠信、その正体は狐……忠信がどう登場するか、また静から忠信への豪快な扇の投げ渡しも、見どころです。

一方この恋が叶わぬときには死ぬ覚悟で、久松のあとを追って来たお染。久松も心中を決意。けれども、人の道に背くこの恋を諦めるよう、久作に諭され、心ならずも別れを約束しました。二人を死なせたくない、おみつを幸せにしてやりたい、その願いが叶ったと久作が喜んだのも束の間、花嫁姿のおみつは、実はすでに髪を切り、俗世を捨てた尼に化して、二人の本心は心中と見抜き、命を助けるため二人を添わせようと、自身の幸せを諦めたのでした。悲しみから転段切は、名曲として知られる旋律を三味線が連れ弾きで華やかに奏で、人形が笑いを誘います。

昼の部

義經千本桜

道行初音施

鶴澤清公	鶴澤清公	鶴澤清公	竹本聖太夫	竹本碩太夫	豊竹呂勢太夫
					静御
					忠
					ツレ
					忠信
					静御前

新版歌祭文

野崎村の段

中	豊竹	豊竹	鶴澤	鶴澤	豊竹	切	ツレ
娘おみ	寛太郎	呂勢太夫	藤藏	若太夫	清介	鶴澤	鶴澤
久三の小	丁稚久	親久	娘お	下女およ	駕籠	油屋お	

夕の部

曾根崎心中

生玉社前の段

鶴	豊
澤	竹
清	希
魺	太夫
丁稚長	手代徳兵衛

天満屋の段

澤村龍之介 振付
天神森の段
お初 豊 竹 芳穂 太夫
徳兵衛 竹 本 小住 太夫
見物
町中
天満屋亭
遊
田舎
竹本 鋳太夫
竹澤 宗助
切

鶴澤清

鶴澤友之助
鶴澤藤之亮

狐 靜
忠 御
信 前
吉 吉
田 田
玉 一
助 輔

娘のおみつ 豊松 清十郎
久三のお助 吉田 文哉郎
丁稚久松 吉田 紫郎
親久作 吉田 也郎
娘お染 吉田 彌郎
下およし 吉田 悠郎
駕籠屋 吉田 次郎
駕籠屋 吉田 彦彦
油屋お勝 桐竹 勘壽

手代徳兵衛
吉田玉助
丁稚長蔵
桐竹勘介

天濱屋表
油屋九平次
吉田玉

田舎客吉玉延
遊女桐竹紋秀
遊女太郎
天満屋主吉勘郎
女中お玉吉一
町衆大田大田
見物人大大ぜい

噀子
望月太明藏社中



富士市出身

**文楽人形遣い・桐竹勘次郎さんによる
ミニレクチャー**

静岡県富士市出身の文楽人形遣い・桐竹勘次郎さんが、文楽人形の仕組み、動かし方などを解説。江戸時代から継承され、人形遣いの息の合った動きを間近で見られる貴重な機会。

夕の部へご来場の方の限定!

会場 中ホール 2階ホワイエ

●15:50～16:20

※夕の部チケットをお持ちの方はどなたでもご参加できます
(申込不要/直接会場へ)

無料

**日本茶インストラクターによる
呈茶サービス**

開演前 休憩時

中ホール2階ホワイエ

●15:40～17:00 ●17:35～17:50

会場限定

**文楽限定
グッズ**

公演当日、会場内では
文楽グッズや公演パンフレットを販売。
人気の「文楽せんべい」をはじめ、
オリジナルグッズをぜひお土産にどうぞ。



- 
【託児案内】
 託児サービス(無料、2歳以上の未就学児に限る)をご利用の方は、公演2週間前までにご連絡ください。
 定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 
・車椅子でご来場の方は、公演日前日までにご連絡ください。
【託児サービス及び車椅子での来場のお問い合わせ】(公財)静岡県文化財団 文化事業課 TEL:054-203-5714
- 
交通アクセス
 - ・JR東静岡駅南口隣接
 - ・静岡鉄道長沼駅下車徒歩10分
 - ・東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から約1時間。新大阪から約2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
 - ・車では東名高速道路静岡I.C.から20分、日本平久能山スマートI.C.から10分、新東名高速道路新静岡I.C.から15分。
静岡バイパス千代田上土I.C.から10分

新県立中央図書館工事のため、駐車場が減少しています。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

〒422-8019 静岡県駿河区東静岡二丁目3番1号
 グランシップ指定管理者：公益財団法人静岡県文化財団
 ホームページ <https://www.granship.or.jp/>   

